

# 川越城の七不思議めぐりコース

歩行距離 約2.7km

所要時間 約54分

施設の見学時間は含まません

「川越城の七不思議」にまつわる土地をめぐるコースです。

シーズン：春・夏  
移動手段：徒歩・バス



市街地エリアで季節の散策を楽しむコース



**1 養寿院**  
夜更けに川越城中のどこからともなく、矢叫びや蹄の音がけたましく聞こえてきました。その原因が堀川討の大戦の屏風画にあることがわかり、養寿院に、屏風が寄進され、音が聞こえてこなくなったと言われています。



**2 川越市立博物館**  
049-222-5399  
博物館の玄関の前にある古井戸は昔、城が敵に攻められて危うくなったとき、井戸のふたを開けると、濃霧が立ち込め、城を隠して助かったといわれています。川越城が「別名霧隠城(きりがくれじょう)」とも呼ばれるようになった由縁です。



**3 川越城本丸御殿**  
049-224-6015  
神社の裏にみごとな杉があり「初雁の杉」と呼んでいました。昔北から飛んできた初雁が、必ずこの杉の上で「ガー」と三声鳴いて三度周りに飛んでいきました。毎年のことで忘れたことがなかったそうです。このことから、川越城を初雁城と呼ぶようになりました。



**4 三芳野神社**  
川越城の周りは、沼が多く城を築くに苦労しました。夢のお告げで、太田道真の娘が沼に身を投げ龍神様の生贄となって、城が完成したといわれています。



**6 喜多院**  
049-222-0859  
鈴をならすと大蛇が現れるので、鈴を鳴らすことを禁じた山内禁鈴、本堂に入って耳を澄ますと潮の音が聞こえる潮音殿、深夜に頭をなで、朝見ると親の顔に見える五百羅漢をはじめ、底無しの穴、三位稲荷、鐘楼門の鷹、お化け杉などの奇談が喜多院の七不思議として伝えられています。



**5 浮島稲荷神社**  
昔、川越城に住むお姫様が、戦いに敗れ、城を落ち延びていた時、七つ釜といわれる神社の裏側にある湿地帯に落ち、ちぎれた葦の片葉をもったまま、命を落としました。姫の恨みによって、この地に生える葦は、すべて片葉の葦になったと伝えられています。

川越駅・本川越駅	
東武(京)川越01.02.03.04系統 約11分6秒	
札の辻バス停	
約0.3km	徒歩約6分
<b>1 養寿院</b>	約1.2km 徒歩約24分
<b>2 川越市立博物館</b>	約0.1km 徒歩約2分
<b>3 川越城本丸御殿</b>	約0.1km 徒歩約2分
<b>4 三芳野神社</b>	約0.6km 徒歩約12分
<b>5 浮島稲荷神社</b>	約0.4km 徒歩約8分
<b>6 喜多院</b>	

入館料、開館時間、定休日等は、各施設にお問い合わせ下さい。